

ANA/JAL 2015 第三四半期決算の比較 (付)ハワイ線の旅客状況

2016年2月2日

この度発表された ANA と JAL の第三四半期連結決算を簡単に比較した。

併せて ANA が中期的に A380 の投入を考えているハワイの旅客状況を眺めてみた。

(注) 末尾処理により別表数値(四捨五入)と発表値(切り捨て)とが一致しない箇所がある。

1. 決算概観

- ① **収益性**； ANA は国際線や付帯事業を中心とした規模拡大による増収と燃油費減等の効果で、また JAL は前年並みの収入ながら燃油費減の効果が大きく、ともに大幅増益となった。 ANA は年間利益を上方修正した。⇒図表 1 参照

- ② **旅客の状況**； 両社ともに燃油単価低下の効果が大きかった。
国際旅客は燃油サーチャージ減でその効果が減殺されたが、国内旅客は逆に旅客収入単価が上昇した。
両社の増益には「国内線収益性の更なる UP」が大きく貢献していると考えられる。
また両社の搭乗率格差(JAL が高い)が更に拡大した。⇒図表 2 参照

- ③ **財務の状況**； ANA は航空機と含建設仮勘定の金額が大きく、それに対応して有利子負債の規模も大きい。
純資産は同規模ながら、ANA は株主出資部分が大きく、JAL は留保利益が大きい。
⇒図表 3 参照

		ANA				JAL				通年予想	
		2014Q3	2015Q3	差	率	2014Q3	2015Q3	差	率	ANA	JAL
国内旅客	億円	5,232	5,289	57	101.1	3,730	3,842	111	103.0		
国際旅客	億円	3,541	3,913	372	110.5	3,460	3,460	0	100.0		
貨物郵便	億円	1,260	1,204	-56	95.6	736	712	-24	96.7		
その他		2,939	3,284	345	111.7	2,297	2,220	-77	96.6		
営業収益	億円	12,972	13,690	718	105.5	10,224	10,234	10	100.1	17,900	13,470
営業費用	億円	12,079	12,523	443	103.7	8,841	8,534	-307	96.5		
営業利益	億円	893	1,168	275		1,383	1,700	318		1,250	2,040
(率)	億円	6.9	8.5			13.5	16.6			7.0	15.1
営業外収支	億円	-147	-46	102		-8	5	12			
経常利益	億円	746	1,122	376		1,375	1,705	330		1,100	2,020
特別損益	億円	117	56	-61		-6	19	25			
税前利益	億円	863	1,178	315		1,369	1,723	355			
税金等	億円	-339	-444	-105		-172	-287	-115			
当期純利益	億円	524	733	210		1,197	1,437	240		650	1,720

※ 前年:99億円の退職給付制度改定益あり

		ANA				JAL				(差)
		2014Q3	2015Q3	差	率	2014Q3	2015Q3	差	率	2015Q3
【国内旅客】										
旅客収入	億円	5,232	5,289	57	101	3,730	3,842	111	103	1,447
旅客数	千人	32,881	32,562	-319	99	24,056	24,377	321	101	8,185
旅客 ^千 *	百万 ^千 *	29,265	29,335	70	100	18,243	18,469	226	101	
座席 ^千 *	百万 ^千 *	45,638	45,207	-431	99	27,458	27,166	-292	99	
搭乗率	%	64.1	64.9	0.8		66.4	68.0	1.5		-3.1
旅客単価	円/人	15,912	16,243	331	102	15,507	15,759	252	102	
【国際旅客】										
旅客収入	億円	3,541	3,913	372	111	3,460	3,460	0	100	453
旅客数	千人	5,361	6,054	693	113	5,808	6,067	258	104	-13
旅客 ^千 *	百万 ^千 *	26,829	30,228	3,399	113	27,103	28,751	1,648	106	
座席 ^千 *	百万 ^千 *	37,219	40,442	3,223	109	35,946	36,348	402	101	
搭乗率	%	72.1	74.7	2.7	104	75.4	79.1	3.7	105	-4.4
平均距離		5,004	4,993			4,666	4,739			
旅客 ^千 単価	円/ ^千 *	13.20	12.94	-0.25	98	12.77	12.03	-0.73	94	

《図表3》 貸借対照表			
	ANA	JAL	差(ANA -JAL)
	億円	億円	億円
現預金、有価証券	3,073	3,655	-582
営業未収入金	1,264	1,347	-83
航空機	9,188	5,435	3,753
他の有形固定資産	4,288	1,729	2,559
繰延税金資産	855		855
その他資産	4,251	3,291	960
資産合計	22,920	15,458	7,462
営業未払金	1,917	1,431	486
有利子負債	7,282	514	6,769
リース債務	250	274	-25
退職給付引当金	1,558	1,843	-285
その他負債	3,863	2,448	1,414
負債合計	14,620	6,511	8,109
資本金・資本剰余金	6,015	3,644	2,371
利益剰余金	2,487	5,271	-2,784
その他	-202	31	-233
純資産合計	8,300	8,947	-647

2. ハワイ線の旅客状況概観

① ハワイ当局のデータ(2014年実績)より; ⇒図表4参照

日本からハワイへの訪問旅客数は151万人で、国際線の約6割を占めている。

JALがその36%を、ANAは約10%を占める。

日本人訪問旅客の地域別内訳、供給座席の発地空港別内訳もピックアップした。

なお韓国や中国からの訪問旅客はまだ少ない。

② 日本＝ハワイの便数内訳(2月のダイヤより);

現時点での発地空港別便数(1日当たり)をピックアップしたのでご参照下さい。

将来ANAが超大型機のA380を導入(3便)すれば、需給は一挙に緩和、競争激化が容易に予想される。但し現在進行している小型化・高搭乗率化で、仕入席数が減少している旅行会社には朗報とも考えられ、地方からの乗継需要の喚起などとも相まって、ハワイ線の需要がブレークすることも期待される。

《図表4》 ハワイ訪問旅客数等(2014)

(ハワイ当局資料、国際線入国ベース)		
【旅客数】	万人	人/日
総訪問者数	258	
うち日本から	151	4,137
韓国	18	
中国	16	
台湾	2	
	万人	人/日
うちJAL	54	1,479
ANA	15	411
その他	82	
うち関東から	66	
近畿から	31	
中部から	25	
九州から	9	
中国四国	9	
東北	6	
北海道	4	
【座席数】(2014)	万席	席/日
成田から	93	2,559
羽田	33	907
関西	37	1,008
中部	22	597
福岡	12	340
札幌	4	112
計	202	5,523

《図表5》 日本＝ハワイの便数内訳(2月時点)

		便/日	(機材)	(共同運航等)
成田	JAL	4	767/787/777	AA
	ANA	2	767	UA/OZ
	DL	1+4/7	767	
	UA	1	777	ANA
	大韓	1	A330	ソウル発便
	中華	1	A330	台北発便
羽田	JAL	1	777	
	ANA	1	767	UA/HA
	HA	1	A330	AA
関西	JAL	1	777	AA
	HA	1	A330	
	DL	1	767	
中部	JAL	1	777	AA
	DL	5/7	767	
福岡	DL	5/7	767	
札幌	HA	3/7	767	
(参考)				
ソウル	大韓	2+2/7	A330/747/777	1便は成田経由
	アジアナ(OZ)	5/7	A330	
	HA	5/7	A330	
上海	東方航空	1	A330	
北京	中国国際	1	A330	
	HA	3/7	A330	
台北	中華航空	1+2/7	A330/A340	1便は成田経由

以上